

2026 年度事業計画

一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会

(1) 会員活動

a. 会員交流 (★:2026 年度新設)

(a) フォーラム

経営と IT に関するさまざまなテーマについて、同じお立場で情報共有し、意見交換を行うユーザー系企業限定の活動。2026 年度も下記のフォーラムを開催、より活発な活動を進める。※()内はチーム数

なお、IT 部門経営フォーラム・IT グループ会社経営フォーラムではJUASスクエア・JUASアカデミーにて年に1度情報発信を行う予定である。

- ・CIO エグゼクティブフォーラム(1)
- ・IT 企業トップフォーラム(3)
- ・IT 部門経営フォーラム(6)
- ・IT グループ会社経営フォーラム(4)
- ・IT グループ会社人材育成フォーラム(1)

(b) 研究会

2026 年度は、下記 15 テーマについて研究会を実施予定である。昨年度参加者が多かった企業情報セキュリティ研究会と、AI 研究会を分割、再編し、新たにスタートする。

希望があった研究会については、合宿を7月2回、10月に実施予定である。

- ・ビジネスデータ研究会
- ・IT インフラ研究会
- ・サービスマネジメント研究会
- ・IT 投資ポートフォリオ研究会
- ・組織力強化研究会
- ・システム開発・保守 QCDs 研究会
- ・トランスフォーメーション(X)研究会
- ・人材育成事例(HRCS:Human Resource Case Study)研究会
- ・製造業 DX 推進アプローチ研究会
- ・マーケティング研究会
- ・ビジネスリレーションシップ研究会
- ・企業情報セキュリティ・マネジメント研究会★
- ・企業情報セキュリティ実践研究会★
- ・AI 戦略ビジネス研究会★
- ・AI エージェント・エン지니어リング研究会★

(c) 未来ビジネスフォーラム

各社のデジタル化への対応について、様々な立場の方(CIO 経験者をはじめとした有識者)の参加を得て情報交換を進めている。2026 年度も前年に引き続き 2 グループで開催する。

(d) アドバンスト研究会

2026 年度も、個別グループでの設立申請を受付し、審査を経て活動を実施する。

(e) 情報セキュリティ WG

情報セキュリティに関する課題とその解決方法の共有を目的に、情報セキュリティをマネジメントする立場から、事例紹介・意見交換等を実施している。

2026 年度も、前年に引き続き、マネジメント WG とソリューション WG の、2 つのグループで活動する。

(f) 関西

IT 部門経営フォーラム関西、IT グループ会社経営フォーラム関西を開催している。

加えて、「PARK(The place of advanced relationship in Kansai)2.0」として、ミドルマネジメントの視点から共通する課題について、より踏み込んで議論し、その成果を発信することを目的に活動する。

(g) JUAS アカデミー

IT に関する最新技術、関連施策に加え、業界や市場の動き、海外動向、経営に適用し得る考え方等の時宜に即したテーマを選び、単発の会員限定の勉強会として開催している。

2026 年度も昨年に引き続き、オンラインを中心に様々なテーマで積極的に実施していく。

b. 個人情報保護など情報管理基盤の整備と制度運用事業

(a) 「認定個人情報保護団体」活動

2026 年度も前年度に引き続き、C 会員を中心に登録を受け付け、苦情相談等を実施する。

(b) プライバシーマーク審査事業

2026 年度のプライバシーマーク審査は、申請件数は 2,058 件、審査件数も 2,058 件と、2025 年度(2,114 件)より 60 件程度少ない件数を見込んでいる。

2026 年 10 月の申請分から、新料金を適用する。旧料金と比べて、10%程度の値上げとなっており、更新辞退の事業者が増加する可能性があると考えており、前年比で60件程度の減少を見込んでいる。今後、継続辞退の状況を注視していく。

また、値上げ前の駆け込み申請も発生する見込みであり、通常の 2 倍程度の申請数を想定している。申請数が増加しても、適正、適切な手続きが実施できる態勢を準備する予定である。

新規審査員については、2025 年度で10名との契約を実施した(2026 年卒も前倒しして採用)。値上げによる、審査件数への影響が現時点で不明なため、2027 年の募集枠は、下期に検討することとした。

「プライバシーマーク審査業務刷新に向けた業務改革・IT 化構想」については、当初の目的としていた申請・審査手続きの処理能力の向上、業務プロセス、ノウハウの可視化、残業時間の削減を達成できたと考えている。2026年度は、この基盤を利用して、さらなる業務改善、効率化を目指す。

また、会員サービスとして、プライバシーマークに係る PMS の構築相談や、カンファレンスや情報提供などを継続して実施していく。

(2) 教育研修事業

2026年度も、企業の人材育成に寄与するような新規テーマでの研修講座を企画、開催していく。

これまでのオープンセミナーの定期講座を中心に、研修分類を整理し、今後強化すべき分野を明確にし、現時点で200本程度の開催が決定しているが、最終的に230本の開催を目標に進めている。また、動画セミナーのラインナップも年間でプラス10講座程度増やしていく予定である。

また、コース型研修として、「女性リーダー勉強会」「変革リーダーシップ勉強会」「ITアーキテクト養成講座」「基幹システム再構築プロジェクト推進者養成講座」は2026年度も引き続き開催予定である。

新人・配転者向けプログラムに関しては、すでに多数の参加希望をいただいているため、2025年度同様2クラス同時開催とし、受け入れ数を増やすほか、新人速習コースを秋にも開催予定である。

2025年度から実施している「人財育成担当者交流会」は、2027年2月15日(月)午後開催を予定している。また、会員限定で、特定のテーマや対象で集まってくラボにも力を入れていく。4月17日にJUAS・IT女子会を初めて開催した。

(3) 普及推進事業

a. JUAS スクエア 2025

ユーザー視点での情報発信・情報収集ができるユーザーカンファレンスとして、「未来を拓く、～人とデジタルが共に創る新たな価値～」をテーマに2026年9月3日(木)にハイアットリージェンシー東京にて開催予定である。

b. イノベーション経営カレッジ

2026年度も度引き続きイノベーション経営カレッジの活動をプログラム(人材育成)、コミュニティ(同窓会)、ラボ(研究)の3つのカテゴリで実施する。

ミドルマネジメント層向けのプログラム「IMCJ2.0」は、2026年度で24期を迎え、10月・11月に、軽井沢での合宿研修として開催を予定している。

(4) 調査研究事業

a. ソフトウェア・メトリクス調査

ソフトウェア開発プロジェクトの各種データを収集し、分析して、「メトリクス(基準値)」を提供する。

本年度は、昨今のアジャイル開発やパッケージ利用開発等の環境変化を踏まえ、新たなメトリクスを検討・定義する「ソフトウェア・メトリクス調査 2027 プロジェクト」を実施する。従来のウォーターフォール開発に関する調査項目に加え、新たに定義した項目を加えて調査を実施予定である。

b. デジタルスキル標準 (DSS) の自社適用指針の策定★

新規の自主調査として、「AI-Readyに向けた役割・スキル定義」をテーマに調査研究を実施する。

(5) 企業 IT 動向調査

企業の IT 投資、IT 導入状況、IT 活用の実態、組織・体制等、動向全般について、幅広く俯瞰的な調査を実施する。また、ユーザー企業における重要課題を「重点テーマ」と位置づけ、解決に向けた指針を提言することを目的とする。実施に際しては、調査委員会・調査部会を組織し、テーマ選定、調査内容企画、分析、報告書執筆を行う。

調査の方法は、本年度もアンケートとインタビューを併用する予定である。情報発信の取組も積極的に行っていく。本年度は調査報告書をより活用しやすい形となるよう、調査委員会・調査部会の場で議論を実施し、見直しを行う。

※2012 年度より公益目的支出計画の実施事業として、継続的に実施している。

以上